

「わが村は美しくー北海道」運動

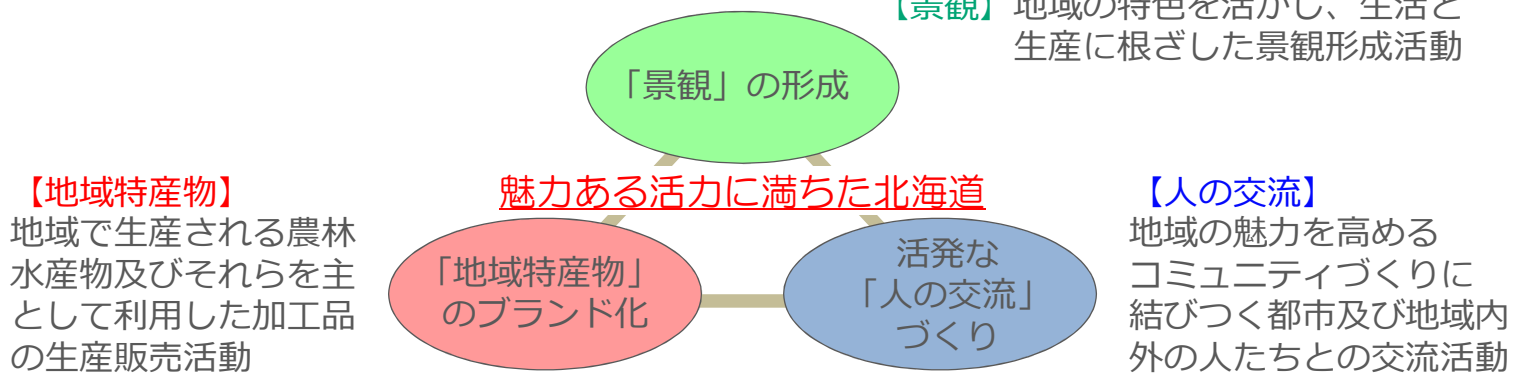
北海道開発局では、道内各地での住民主体の地域活性化活動を支援し農山漁村の発展に寄与することを目的に、「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、この運動の一環として平成14年から2年に一度コンクールを開催しています。

今回で7回目となるコンクールには全道から99団体の応募があり、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりにおいて特に優れた活動として、優秀賞14団体及び奨励賞30団体の表彰が決定し、釧路ブロックからは優秀賞1団体、奨励賞2団体が受賞しました。

平成27年度、前年度に優秀賞として選ばれた14団体の中から、先導性・モデル性の高い活動を行っている団体として、釧路ブロックの「落石地区マリンビジョン協議会」(根室市)を含む3団体が大賞を受賞しました。



【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



第7回コンクール応募団体のご紹介（釧路ブロック）



釧路ブロック
優秀賞

落石地区マリンビジョン協議会（根室市）

豊かで活気のある漁村を構築するため、地元漁業者や地域住民を中心として、商工・観光、農業・行政が一体となって、平成16年に協議会を設立しました。

以来、魅力的な地域資源を豊富にもつメリットを最大限に活かし、落石漁港を中心とした地域振興の取り組みを進めています。

その活動は多岐に渡り、落石岬を巡るフットパスで美しい景観を落石の魅力として紹介、絶滅危惧種の希少野鳥エトピリカ観察を目玉としたマリンクルーズの実施、落石でとれる海の幸を使った海産物ブランド「しお風」の販売、そのほか災害に強い地域作り、後継者の育成、衛生管理の啓発と推進、海岸や沖に浮かぶ無人島（コルリ島）の清掃活動等々精力的に活動しています。



落石岬フットパス



海上バードウォッチングツアー



鶴居村立鶴居小学校（鶴居村）

鶴居小学校がある鶴居村は、特別天然記念物であるタンチョウの生息繁殖地として知られています。

学校ではこのタンチョウをモチーフにした「タンチョウソーラン」を平成8年に創作しました。

以来、学校の伝統行事として、学校行事や地域のイベントにおいて全校児童で披露しており、学校や地域を代表する文化の一つとなっています。



タンチョウソーラン



別海町グリーン・ツーリズムネットワーク（別海町）

日本有数の酪農地帯、「別海」の魅力を多くの人に知ってもらおうと、平成16年に設立しました。

農村の自然や景観、生活、文化、食を、体験・交流を通して地域の活性化に取り組んでいます。

地域の酪農家による農業体験の実施や、道外からの修学旅行生の受け入れ、旧JR標津線跡地を活用したフットパス、根釧パイロットファームの歴史をたどるツアーの実施などにより、地域住民と都市住民の心のふれあいを目指しています。



JR標津線跡地を利用したフットパス

根室・室根交流の会（根室市）

根室市と岩手県一関市室根町は逆さ地名が縁となり、平成11年から交流を続けています。

スポーツ親善交流や、地場特産品である根室の「海の幸」と室根の「山の幸」などの物流、地域の特色を生かした郷土芸能の相互交流を行うことにより、両地域の人々の創造力と郷土愛を育み、この縁で結ばれた交流の絆を一層深めています。



さんま祭りにて特産品交流

グリーン☆ツーリズム標茶（標茶町）

グリーンツーリズム資源を持ち実践している酪農家や養鶏家、野菜農家などの有志、関係団体で平成20年に設立されました。

標茶町のお宝探し隊として宿泊施設や自然体験施設、景観スポットなど町の楽しみ方や自慢できるものを見つけてマップを作成・発信し、農村と都市の橋渡しをすることを目指しています。



昨年“エンジョイ編”マップが完成

中標津料理創造協会（中標津町）

近年、エゾシカによる農林業被害が増加していますが、これを地域の新たな資源として有効活用しようとシカ肉料理の研究を進めています。

地域の食材との組み合わせや、新たな調理法の開発により、シカ肉へのネガティブなイメージを払拭し地元飲食店での提供や、町民へレシピを公開するなど地域の新たな食材として普及向上に努めています。



シカ肉料理の試食会